



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 本多 英明

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,675	△13.9	△66	—	△91	—	△85	—
23年3月期第1四半期	4,271	△5.3	167	10.9	126	20.6	168	114.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △85百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 166百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△3.99	—
23年3月期第1四半期	7.88	7.71

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	14,333	5,114	35.6
23年3月期	14,881	5,199	34.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,106百万円 23年3月期 5,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00 ～3.00	1.00 ～3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,539	△2.7	249	△25.4	192	△25.6	129	△55.4	6.03
通期	16,550	△1.8	320	1.9	215	17.9	90	△45.6	4.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	21,504,347 株	23年3月期	21,504,347 株
24年3月期1Q	109,000 株	23年3月期	108,401 株
24年3月期1Q	21,395,749 株	23年3月期1Q	21,399,146 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表等 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく、個人消費の低迷やデフレ状態が続いていることに加え、平成23年3月11日に発生した東日本大震災、原子力発電所事故の影響により、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である外食業界におきましても、消費者の節約志向は依然として強く、また、4月下旬に発生した、他社焼肉チェーン店における集団食中毒事件の余波により、不安を感じたお客様の利用控えによる影響が大きくなりました。

当社では、これまでも川上から川下にいたるサプライチェーン組織の各段階における衛生管理を徹底し、販売する商品に対して万全の体制を構築してまいりましたが、従来にも増して衛生・品質管理の向上を推し進め、より一層の「安全・安心」の提供とお客様からのより一層のご理解、ご支持をいただける様、努めてまいります。

また、このように提供する商品の「安全・安心」に加えて、おもてなしの心を込めた接客や店舗空間のあり方についても、時代に対応した新たなものに変革するために、人材の採用や教育の改善等を鋭意進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高36億75百万円（前年同四半期比13.9%減）、営業損失66百万円（前年同四半期は営業利益1億67百万円）、経常損失91百万円（前年同四半期は経常利益1億26百万円）、四半期純損失85百万円（前年同四半期は四半期純利益1億68百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

#### ① 安楽亭業態

当第1四半期連結累計期間に4店舗を閉鎖した結果、安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は203店舗であります。内訳は直営164店舗、暖簾5店舗、FC34店舗であります。

「安楽亭」では、商品力向上のため、お値打ち和牛店舗を推進しており、現在安楽亭業態の半分以上の店舗がお値打ち和牛実施店舗となりました。

販売促進並びに商品開発につきましては、「『安楽亭×劇場版戦国BASARA×戦国BASARA クロニクルヒーローズ』あの大迫力が今、甦る！！復活！でかつ焼肉フェア」や夏の一押しデザートとしてアップルマンゴーをたっぷり使用した新デザートの開発等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアやメニュー作りを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は31億11百万円（前年同四半期比14.1%減）となり、セグメント利益は33百万円（前年同四半期比86.5%減）となりました。

#### ② 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は24店舗であります。内訳は直営21店舗、暖簾1店舗、FC2店舗であります。

七輪房業態への業態転換につきましては、現在、消費者の節約志向等のトレンドを踏まえ、転換を一旦停止しております。

販売促進並びに商品開発につきましては、「期間限定！行楽焼肉セット」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを開催してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は4億10百万円（前年同四半期比12.6%減）となり、セグメント利益は8百万円（前年同四半期比74.9%減）となりました。

#### ③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は19店舗であります。内訳は直営9店舗、暖簾3店舗、FC7店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「TERRAPLATE(焼肉)」、「楽コンセプト(焼肉)」、「まんぼく(焼肉)」、「国産牛カルビ本舗安楽亭(焼肉)」、「和牛カルビ屋(焼肉)」、「Varié(ステーキ・ハンバーグ)」、「カフェビーンズ(喫茶)」、「春秋亭(和食)」、「上海菜館(中華)」、「龍饗(中華)」等を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億53百万円（前年同四半期比13.3%減）となり、セグメント損失は13百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ5億47百万円減少し、143億33百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したこと、有形固定資産の減価償却、敷金及び保証金が減少したこと等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ4億62百万円減少し、92億19百万円となりました。これは主に、借入金の減少及び設備購入に係る割賦未払金の支払により割賦未払金及び長期割賦未払金が減少したこと等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、51億14百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、現時点では平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	994,530	601,927
受取手形及び売掛金	245,125	191,954
商品及び製品	104,457	116,911
仕掛品	255	299
原材料及び貯蔵品	282,458	355,223
前払費用	242,479	232,639
繰延税金資産	58,729	58,438
その他	162,878	162,468
貸倒引当金	△1,325	△2
流動資産合計	2,089,590	1,719,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,006,962	2,933,385
機械装置及び運搬具(純額)	23,610	23,234
工具、器具及び備品(純額)	97,694	90,903
土地	6,002,292	6,002,292
リース資産(純額)	25,488	24,192
建設仮勘定	5,136	4,446
有形固定資産合計	9,161,185	9,078,456
無形固定資産		
99,273		100,374
投資その他の資産		
投資有価証券	61,443	61,410
長期貸付金	936,748	924,546
長期前払費用	31,430	32,981
繰延税金資産	11,842	11,979
敷金及び保証金	3,186,736	3,073,808
その他	62,274	68,185
貸倒引当金	△759,163	△738,067
投資その他の資産合計	3,531,313	3,434,844
固定資産合計	12,791,771	12,613,675
資産合計	14,881,362	14,333,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	377,128	299,789
短期借入金	6,976,846	6,953,634
リース債務	5,896	5,443
未払金	252,100	227,608
未払費用	471,372	481,649
未払法人税等	89,837	27,583
未払消費税等	48,038	67,845
賞与引当金	77,000	38,500
割賦未払金	196,139	160,018
設備関係未払金	46,512	22,708
その他	149,235	53,860
流動負債合計	8,690,109	8,338,640
固定負債		
長期借入金	350,904	263,887
長期割賦未払金	67,303	41,687
リース債務	21,319	19,958
繰延税金負債	131,938	131,938
退職給付引当金	112,036	112,649
役員退職慰労引当金	236,862	239,619
その他	70,985	70,985
固定負債合計	991,349	880,724
負債合計	9,681,458	9,219,365
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,359	2,537,359
利益剰余金	△435,057	△520,344
自己株式	△66,164	△66,409
株主資本合計	5,218,523	5,132,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,520	△26,580
その他の包括利益累計額合計	△26,520	△26,580
新株予約権	7,900	7,760
純資産合計	5,199,903	5,114,170
負債純資産合計	14,881,362	14,333,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	4,271,208	3,675,820
売上原価	1,537,690	1,354,459
売上総利益	2,733,518	2,321,360
販売費及び一般管理費	2,566,259	2,387,534
営業利益又は営業損失(△)	167,259	△66,173
営業外収益		
受取利息	10,523	8,677
受取配当金	729	701
受取地代家賃	2,729	2,708
貸倒引当金戻入額	—	1,384
その他	6,416	8,723
営業外収益合計	20,397	22,195
営業外費用		
支払利息	57,283	45,230
その他	4,216	2,545
営業外費用合計	61,500	47,776
経常利益又は経常損失(△)	126,157	△91,754
特別利益		
固定資産売却益	—	2,449
貸倒引当金戻入額	15,175	—
受取補償金	48,176	30,464
特別利益合計	63,352	32,914
特別損失		
固定資産除却損	371	984
減損損失	1,907	—
投資有価証券評価損	100	—
賃貸借契約解約損	—	7,844
特別損失合計	2,379	8,829
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	187,130	△67,668
法人税、住民税及び事業税	16,360	17,463
法人税等調整額	2,179	153
法人税等合計	18,539	17,617
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	168,590	△85,286
四半期純利益又は四半期純損失(△)	168,590	△85,286



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	168,590	△85,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,790	△60
その他の包括利益合計	△1,790	△60
四半期包括利益	166,800	△85,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,800	△85,346

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,624,158	469,367	177,683	4,271,208	4,271,208	—	4,271,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,624,158	469,367	177,683	4,271,208	4,271,208	—	4,271,208
セグメント利益又は 損失(△)	246,408	32,685	△3,645	275,447	275,447	△108,188	167,259

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、1店舗の一部が道路収用予定のため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては1,907千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,111,768	410,067	153,984	3,675,820	3,675,820	—	3,675,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,111,768	410,067	153,984	3,675,820	3,675,820	—	3,675,820
セグメント利益又は 損失(△)	33,313	8,215	△13,363	28,165	28,165	△94,339	△66,173

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。